



# 光村の「国語」

移行期の指導のために

光村図書出版株式会社

「分かる」から「使える」へ  
—— 知識・技能／活用

## 「知識・技能」「活用」をめぐる議論

平成20年1月、中央教育審議会から「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善について（答申）」が出されました。答申では、学習指導要領改訂の基本的な考え方として、

- 基礎的・基本的な知識・技能の一層の習得・理解を図る
- 知識・技能を活用する学習活動を充実させることを重視する

といったことが示されました。そして、「各教科での習得や活用と総合的な学習の時間を中心とした探究は、決して一つの方向で進むだけではなく、（中略）相互に関連し合って力を伸ばしていくものである」という考え方が打ち出されています。

## 国語科で求められる「知識・技能」と「活用」の力

今、求められる「知識・技能」と「活用」の力——。昨年、43年ぶりに実施され、今年も4月に行われた全国学力・学習状況調査では、次のような形で国語の「知識・技能」と「活用」の力が問われました。

〈知識・技能〉

説明文の一部の段落を読み、書かれている内容をまとめたものとして最も適切なものを選択肢から選ぶ。（国語A⑨）

〈活用〉

二つの文章（感想文）を比べて読み、書き方のよさや工夫を評価する。（国語B⑩）

（平成19年実施の調査問題より）

書かれている内容を正確にとらえる能力（＝知識・技能）を、複数の文章を比べて読み、評価する場面で生かす——国語B⑩ではそういった「活用」の力が問われています。この設問のように、実際の生活場面で生きて働くものとしての力が、今、求められているのです。

習得した知識・技能をさまざまな場で使う。



活用することで、知識・技能をさらに定着させる。

# 「分かる」から「使える」へ——知識・技能／活用

21年度版光村の「国語」は、単元・教材が有機的に関連し合い、確かな力を養うことができます。

## 「段落」の学習を例に

説明・報告文を書く  
「食べ物がかせになろう」(3F)

報道・通信文を書く  
「新聞記者になろう」(4上)  
「四年三組から発信します」(4F)

段落の中心となる  
語や文に気をつけて読む  
「すがたをかえる大豆」(3F)

レポートを書く  
「言葉の研究レポート」(5上)

段落を分けて書く  
「おもしろいと思ったところ」「マンホールのふたの様子」「場所」というように、文章の全体には、いくつかの事がらがふくまれています。事がらごとに段落を分けて書くと、分かりやすく読みやすい文章になります。

段落  
「文章には、行のはじめが一字がっているところがあります。そこをくぎりとして、ないようがひとまとまりになっています。このひとまとまりを段落といいます。」

段落のつながりに  
気をつけて読む  
「『かむ』ことの手」(4上)

ガイドブックにまとめる  
「ガイドブックを作ろう」(6上)

知識・技能を押さえる

要旨をとらえる  
「サクラソウとトラマルハナバチ」(5上)

意見文を書く  
「自分の考えを発信しよう」(6下)

さまざまな教材で使う

他教科や実生活に生かす

## 「たいせつ」で知識・技能を確認する

学習ページや活動の中に、「たいせつ」というコーナーを設けました。ここには、その学習で身につけてほしい国語の知識・技能を分かりやすくまとめています。これは、ほかの場面でも生きる国語の力といえます。

付録の「『たいせつ』のまとめ」も利用しながら、身につけた知識・技能を振り返り、さまざまな学習場面で使っていくことで、より定着が図れます。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----